



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル

上場取引所 東

コード番号 9713 URL <http://www.rihga.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 蔭山 秀一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 坊傳 康真

TEL 06-6448-1121

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,879	60.0	7,249	—	5,310	—	7,721	—
2020年3月期第3四半期	29,720	2.8	748	54.7	581	60.6	2,167	18.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 7,764百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 2,323百万円 (14.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	753.88	—
2020年3月期第3四半期	211.59	115.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	61,116	12,419	20.3
2020年3月期	62,890	20,184	32.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,419百万円 2020年3月期 20,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	15,500	58.8	10,000	—	7,500	—	10,000	976.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	10,271,651 株	2020年3月期	10,271,651 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	29,113 株	2020年3月期	28,937 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	10,242,662 株	2020年3月期3Q	10,242,836 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年 3 月期	—	0.00	—		
2021年 3 月期(予想)				0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
3. 補足情報	8
部門別売上実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外で新型コロナウイルスの感染が拡大する中、事業者への休業要請や個人の外出自粛などにより、個人消費が大幅に落ち込んだことに加え、企業活動が停滞したことにより、大きな減速を余儀なくされました。

ホテル業界においては、各国政府による新型コロナウイルス対策の本格化以後、国内外の旅行需要が激減し、自粛要請による宴会、レストラン利用者の減少等、業界環境に深刻な影響を及ぼしました。2020年7月のG o T o トラベル事業の開始など観光業界活性化に向けた政策の後押しを受け、緩やかながら回復の傾向がみられておりましたが、感染再拡大による12月の同事業の適用一時停止発表以後は、再び厳しい業界環境となりました。

こうした環境下、当社グループは、一部のレストラン・文化教室などの営業時間の短縮・内容変更、臨時休業を余儀なくされるなど、極めて厳しい状況下での営業活動となりました。営業活動にあたっては、お客様の安全、安心を第一に考え、パブリックスペースでの定期的な消毒実施、レストランでの三密防止を徹底したテーブルセッティング、フロントカウンター、レストラン・バーのレジスターカウンターへのアクリル板の設置などを徹底し、感染予防に努めております。

営業面ではG o T o トラベル事業の需要を最大限に取り込むため、様々な宿泊プランを提供してまいりました。また、2020年7月15日には『趣〜O m o m u k i〜京都、リーガの宿』をコンセプトに、京都らしさを随所にちりばめたインテリアデザインを特徴とした「リーガグラン京都」を新規に開業いたしました。

一方、レストラン出店事業のうち不採算店舗2店舗を閉鎖いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、当第3四半期連結累計期間の売上高は、11,879百万円と前年同期比17,841百万円(60.0%)の減収となりました。

損益面では、営業損失7,249百万円(前年同期は営業利益748百万円)、経常損失5,310百万円(前年同期は経常利益581百万円)となりました。また、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額(損)2,270百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失7,721百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,167百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループホテルは、2019年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定し、当第3四半期連結会計期間においても、C S・E S・No.1ホテルの実現に向け、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,774百万円減少し61,116百万円となりました。

内訳では流動資産が同1,326百万円増加し6,245百万円となりました。これは借入等により、現金及び預金が770百万円増加したこと等によります。固定資産は同3,100百万円減少し54,870百万円となりました。これは新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を2,334百万円取崩したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,990百万円増加し48,696百万円となりました。これは借入金が、5,257百万円増加したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ7,765百万円減少し12,419百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によります。これにより自己資本比率は、前連結会計年度末の32.0%から20.3%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、適正かつ合理的な算定が困難であるため、未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報に基づいて算出した業績予想を公表いたします。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想ならびに営業外収益の計上及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,572	3,343
売掛金	1,063	1,391
原材料及び貯蔵品	431	700
その他	851	810
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	4,919	6,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	60,754	61,050
減価償却累計額	△46,462	△47,161
建物及び構築物（純額）	14,292	13,888
土地	27,000	27,000
リース資産	1,102	854
減価償却累計額	△710	△589
リース資産（純額）	391	264
その他	5,465	5,488
減価償却累計額	△4,158	△4,231
その他（純額）	1,307	1,256
有形固定資産合計	42,991	42,410
無形固定資産		
ソフトウェア	137	184
その他	63	18
無形固定資産合計	201	203
投資その他の資産		
差入保証金	12,068	11,918
繰延税金資産	2,337	3
その他	383	347
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	14,778	12,257
固定資産合計	57,971	54,870
資産合計	62,890	61,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	653	938
短期借入金	2,010	8,354
賞与引当金	443	57
その他	3,272	4,204
流動負債合計	6,379	13,554
固定負債		
長期借入金	27,158	26,071
長期預り金	3,233	3,176
退職給付に係る負債	5,418	5,441
商品券回収損引当金	182	184
その他	333	267
固定負債合計	36,326	35,141
負債合計	42,705	48,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,229	13,229
利益剰余金	7,127	△593
自己株式	△60	△61
株主資本合計	20,295	12,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	19
退職給付に係る調整累計額	△175	△173
その他の包括利益累計額合計	△163	△154
非支配株主持分	52	-
純資産合計	20,184	12,419
負債純資産合計	62,890	61,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	29,720	11,879
売上原価	7,231	2,878
売上総利益	22,489	9,000
販売費及び一般管理費		
水道光熱費	1,689	1,162
人件費	10,257	7,935
諸経費	9,795	7,152
販売費及び一般管理費合計	21,741	16,250
営業利益又は営業損失(△)	748	△7,249
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	4	3
雇用調整助成金	-	2,094
債務勘定整理益	8	6
その他	28	47
営業外収益合計	43	2,154
営業外費用		
支払利息	186	194
その他	23	20
営業外費用合計	210	215
経常利益又は経常損失(△)	581	△5,310
特別利益		
受取保険金	97	-
特別利益合計	97	-
特別損失		
減損損失	72	91
固定資産除却損	103	85
特別損失合計	176	176
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	502	△5,487
法人税、住民税及び事業税	102	10
法人税等調整額	△1,804	2,270
法人税等合計	△1,701	2,281
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,204	△7,768
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	37	△46
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,167	△7,721

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	2,204	△7,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	7
退職給付に係る調整額	113	△3
その他の包括利益合計	118	3
四半期包括利益	2,323	△7,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,281	△7,712
非支配株主に係る四半期包括利益	41	△52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、2020年度の下期から徐々に回復に向かい、2021年度の下期には概ね例年並の需要が見込まれるとしていましたが、感染症の広がりや収束時期等の不透明感が強いことから、2021年度ではまだ一定の影響を受け、2022年度から概ね例年並の需要が見込まれることを前提として、繰延税金資産の回収可能性等を検討しております。

これらの前提のもと、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討し、新型コロナウイルスの影響を反映した今後の業績見通し及び将来収益力等を勘案した結果、繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額(損)2,270百万円を計上しております。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用について)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

3. 補足情報

部門別売上実績

(単位 金額：百万円、構成比：％、増減率：％)

部 門	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率
客 室	7,958	26.8	3,142	26.5	△ 4,815	△ 60.5
宴 会	10,004	33.7	2,472	20.8	△ 7,531	△ 75.3
食 堂	6,603	22.2	2,933	24.7	△ 3,670	△ 55.6
そ の 他	5,154	17.3	3,330	28.0	△ 1,823	△ 35.4
合 計	29,720	100.0	11,879	100.0	△ 17,841	△ 60.0